

# むかし暮らし、その道具

— 手しごととの時代 —

令和6年 1月13日(土) ~ 3月3日(日)

お茶の間と資料館をつなぐ!

オンライン展示解説 (Visual History Guide)

14:00 ~ 15:00

1月29日(月) ~~13:30 ~ 16:00~~

Zoomを使用したオンライン配信

※詳細は、当館ホームページをご覧ください。



体験教室「わらぞうりをつくろう」

2月4日(日) 13:30 ~ 16:00

会場：当館 研修室 定員：10名 参加費：200円

申込：1月4日(木)より、先着順。

当館窓口かお電話でお申込みください。

※小学5年生以上が対象ですが、小学4年生以下でも、  
保護者の付添いがあればご参加いただけます。



— 歴史資料館 冬のイベント —

市民歴史大学「渡来人と日本文化」(いずれも13:30 ~ 15:00, 13:00 受付開始)

● 第3回 2月11日(日・祝)

清水 昭博 氏 (帝塚山大学 教授)

飛鳥の古代寺院と朝鮮半島

● 第4回 2月25日(日)

井上 主税 氏 (関西大学 教授)

大和地域の百済系渡来人の様相

— 5・6世紀を中心に —

「館長と学ぶ柏原の歴史講座」(いずれも13:30 ~ 15:00, 13:00 受付開始)

● 1月27日(土) 第1回「柏原の地形・地質と災害」

● 2月24日(土) 第2回「旧石器時代の柏原」

● 3月23日(土) 第3回「縄文時代の柏原」

講師：安村 俊史 (当館 館長)

会場：当館 研修室 定員：90名 参加費：各200円 申込：当日先着順。 ※詳細は、当館ホームページをご覧ください。

柏原市立歴史資料館

月曜休館 (祝日は開館) 入館無料

9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

JR 大和路線 高井田駅から徒歩約6分  
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約15分

〒582-0015 柏原市高井田 1598-1  
rekishi@city.kashiwara.lg.jp  
TEL : 072-976-3430

歴史資料館  
ホームページ



歴史資料館の収蔵庫には、年季の入った、使いこまれた古い道具がたくさんおさめられています。当然、一つとして同じものはなく、すべて、本市域およびその周辺を生きた先人たちが、暮らしの道具として使用してきたものです。それを、市民の方がた寄贈していただき、現在は当館で大切にさせていただいているのです。

今回の企画展では、そのごく一部ではありますが、当館所蔵の「むかしの道具」をご覧いただき、暮らしのなかで生じたものを無駄なく、長いあいだ大事に活用してきた「むかしの暮らし」について、皆さんといっしょにふり返ってみたいと思います。

スーパーマーケットやホームセンター、コンビニエンスストア、さらにはインターネットで、24時間、ほしいものがなんでも手に入るようになった現代の暮らしとくらべると、それは格段に大変だったはず。そうしたなか、日の出前から夜遅くまで、人びとは一生けん命にはたらき、暮らしをつないで来たのです。

もちろん、一口に「むかし」といっても、時代が進むにつれて、暮らしは豊かになってきました。道具を通じて、そうした進歩にも注目したいところです。

本企画展を通じて、現代の便利な生活のありがたさに改めて思いをいたすとともに、逆に、失われてしまったものはないか、考えるきっかけになればと思います。



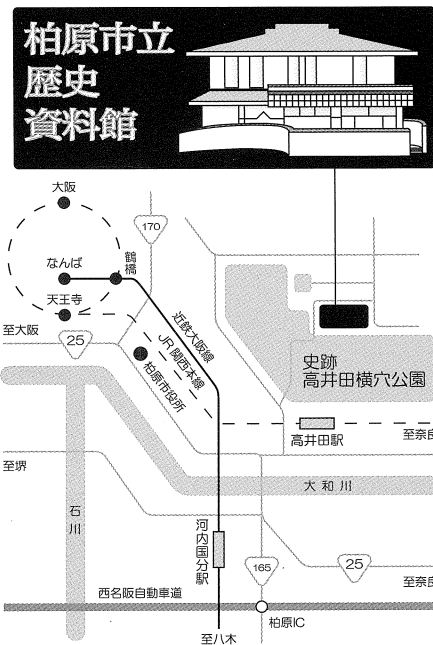
▲ 石油ランプ



生活再現展示 冬の夜 ▶

なお、この企画展は、小学3年生の社会科の学習にあわせて実施しており、展示やリーフレットについても、小学生に配慮したものを心がけています。もちろん、大人から子どもまで楽しめる内容となっています。ぜひこの機会に、生活の知恵が詰まった「むかしの道具」たちに会いに来ていただけたらうれしく思います。

## アクセスマップ



## 主な展示品

- お米づくりのあとに…箕 (み)、唐箕 (とうみ)、わらの道具
- 冬をのりきる…火ばち、豆炭 (まめたん) あんか、ふとん
- 夏をのりきる…氷れいぞうこ、たらい、ぶどうづくりの道具
- 人の一生…出産 (しゅっさん)・婚礼 (こんれい) の道具、学校の資料
- 動物と機械…高機 (たかばた)、からすき、なわな機
- 電気がやってきた…鉄道レール、二股 (ふたまた) ソケット、せんぶうき

※ 展示品の一覧は、当館ホームページよりダウンロードできます。

